

## 第 5 回水道料金等審議会 会議録

- 会議の名称：第 5 回甲府市水道料金等審議会
- 開催日時：平成 26 年 9 月 30 日（火）午後 3 時 00 分～午後 4 時 45 分
- 開催場所：甲府市上下水道局 3 階大会議室
- 出席委員：込山芳行委員、風間ふたば委員、末木徳夫委員、村上達彦委員、高嶋英一委員、齋藤伸右委員、藤澤恵子委員、横山みどり委員、小林明委員、萩原雄二委員、田中利江委員、務台喜一郎委員、渡辺和恵委員、清水雄太委員、長澤有紀委員、米山夫佐子委員
- 欠席委員：齋藤徳子委員、桐生康夫委員、松本響乃介委員
- 傍聴者数：1 名
- 次第
  - 1 開会
  - 2 報告事項
    - ・ 第 4 回水道料金等審議会会議録は承認された。
    - ・ 依頼資料の提出。
  - 3 議事
    - (1) 下水道事業の経営状況について
    - (2) 算定期間内の収支について
    - (3) 適正な下水道使用料について
    - (4) これまでの審議内容について
    - (5) その他
  - 4 事務連絡
  - 5 閉会
- 審議内容  
報告事項の中で依頼資料を提出。

### 【会長】

前回、前々回の第 3 回及び第 4 回審議会で委員より、資料の依頼がありました、「下水道事業の K P I 平成 2 5 年度末と平成 2 9 年度の目標数値」及び「下水道事業における省エネルギー対策」について事務局より説明をお願いします。

**【事務局】**

依頼資料について説明。

**【会長】**

ただいまの事務局からの説明につきまして、何か、ご質疑、ご意見等は、ございませんか。

**【委員】**

非常に広い土地と生み出された水の活用がポイントだと思う。そういう意味で東京都のスマートプランをホームページで参照しましたが、他のホームページを見てもエコで具体的な話が見られる。先日、テレビ放送で、東京スカイツリーで太陽光パネルを使用しているが、40度を超えると効率が落ちるということで、雨水を溜めて冷却等に利用しているというのを見ました。上下水道施設を見ると余っている水はあるため、同じ様な発想が出来るのではないかと思っておりました。是非、早めに検討の中に具体的に取り込んでいただきたい。現状を見ると資金を借り入れるなどすれば、すぐにでも実現可能ではないかと思えます。

もう一点は、東京都のスマートプランの中に曝気システムに関しての記載があり、私もどんな仕組みなのかホームページを見ましたが、先程説明のあったB-DASHプロジェクトの中で、平成26年度に無曝気循環式水処理技術実証事業とあるが、これと同じ事業となるのか。

**【事務局】**

無曝気循環式水処理技術実証事業とは、現在の主流は、曝気をして微生物を入れて処理をする方式ですが、過去に、高速濾床という石などを並べて上から汚水を流す事によりその途中で微生物が分解する、そうしますと空気を入れなくても処理が出来るという方式があり、原理とすればそれを活用した方式となる。

**【委員】**

曝気用のモーターの電力使用が、浄化センター全体の使用電力約20%となっているのを削減しようという考えは、基本的に東京都と同じということか。

**【事務局】**

東京都が取り組んでいる事業も曝気量を減らすと言う考えなので、基本的には同じであります。B-DASHプロジェクトの中の最先端の方式ではない

と思われますが、空気を小さな粒にして曝気することで全体量を減らす方式もありますので東京都はそちらを採用している可能性があります。

**【委員】**

いずれにせよ使用電力の中では曝気の所がポイントになっている。ここを新しいプロジェクトの中で具体的に進めてもらい、あの大きなモーターが1台でも不要となるような形を検討してもらいたい。

**【会長】**

委員の発言は、今後の検討課題という意味合いですね。他に、ご質疑、ご意見等は、ございませんか。

**【委員】**

B-DASHプロジェクトについてご説明がありましたが、こちらのプロジェクトは国が進めているもので甲府市のものではないのですか。

**【事務局】**

国のプロジェクトとなります。

**【委員】**

わかりました。

**【会長】**

それでは他にご質疑、ご意見等ないので、次第の3「議事」に入ります。まず、(1)下水道事業の経営状況について事務局より説明をお願いします。

**【事務局】**

下水道事業の経営状況について説明。

**【会長】**

ただいまの事務局からの説明につきまして、何か、ご質疑、ご意見等は、ございませんか。

**【委員】**

支出の中で占める割合、収入の中で占める割合で企業債の割合が多いのですが、年報の中で162ページの借入金明細書、146ページの企業債明細書を見ますと、借入れの利率が高い所で5.5%、低い所は1%台あるいは0.何%台となっています。一般企業においては借入れの利率が高いものは出来れば低いものに借り換える、といった方法をとるのですが、この利率が高いものについて優先的に返済するような方法は取れないか。

**【事務局】**

借り入れている資金の多くが財務省からとなっており、自由に返済ができる性質ではありません。その中で平成19年度から21年度までの期間で、平成4年5月31日までに貸し付けられた5%以上の企業債について繰上償還可能となり、貸付期限が対象とならないもの、また共済組合からの借入れ分についての2本のみ、償還できず残っておりますが、基本的に5%以上で対象となるものは、繰上償還または借り換えを行っております。

**【委員】**

わかりました。

**【会長】**

出来る限り有利な償還方法を取っているということですね。

**【事務局】**

努力をしております。

**【会長】**

それでは他にご質疑、ご意見等ないようなので、次の議事に入ります。(2)算定期間内の収支について事務局より説明をお願いします。

**【事務局】**

算定期間内の収支について及び「甲府市上下水道事業経営計画2008後期実施計画」について説明。

**【会長】**

算定期間内の収支につきまして、具体的な数値を上げながら、適正な数値で運営できているとの説明がありました。

何かご質疑、ご意見等は、ございませんか。

**【委員】**

資料1の下水道事業の経営状況ということで平成25年度の決算の実績は数値が出ているかと思いますが、その数値と今回の3ヶ年の事業計画の数値を見ていくと、多少乖離していると思う。どのように算定されたのか教えていただきたい。まず、資料1の減価償却費を見ると、平成25年度実績では、25億5,700万円という数値がでております。平成27年度になると、27億5,300万円ということで、減価償却費で2億円増えるということは、かなり資本が増えるというイメージを持ちます。次に、資産減耗費も計画上

では、1,000万円になっていますが、実績としては、約1億7,000万円となっているので、3ヶ年では少ないのではないかと思います。また、委託費も平成25年度実績では、6億3,000万円ですが、平成27年度以降、約7億ということで7,000万円ほど増えています。委託を増やすのかどうか、修繕費についても、平成25年度は、2,500万円という数値ですが平成27年度以降には、約1億円に近い数値になっているが、修繕を加速させるのか。その部分の数値の違いを教えてください。

**【事務局】**

まず、減価償却費ですが、決算上ですと25億円、事業計画ですと27億円、28億円と増えていくのですが、基本的に下水道の資本投資の方は、予算ベースで約30億円毎年投資する予定です。したがって30億円の減価償却ですと、下水道の単年度投資の平均した耐用年数が、30年となりますので毎年約1億円の減価償却費が増えていくこととなります。次に、資産減耗費ですが、下水道は、更新を迎えつつありますが、まだ新しい管渠なので、なかなか除却費が見込めないため、若干少なく見積もってはいますが、1,000万円を計上しております。委託料につきましては、計画の中で地図情報システムの更新を見込んでおりますので、このような数値となっております。修繕費については、平成25年度は、2,500万円ですがこの算定期間の中では、浄化センターの修繕を見込んでおります。

**【委員】**

資産減耗費の計上が、若干少ないように思いましたが、ありがとうございます。

**【会長】**

会計処理の中で、保守主義の立場をとっているということですね。

**【事務局】**

平成25年度の資産減耗費につきましては、大きな更新が浄化センターでありましたので、その除却費があり、このような数値となっております。

**【会長】**

平成27年度からの計画としては、このようになるわけですね。

他に何か質問はございますか。

**【委員】**

使用料金体系の話ですが、この計算は、従来の計算で試算していると思われるが、6年前に値上げしたときに但し書きとして、大口の使用者に関する価格について、段階的に上げていく、というようなことがあったかと思うが確認したい。また、有収率ですが、上水道の場合は、K P I で平成25年度実績が約80%で年間8,800万円のマイナスだと説明があった。下水道の場合は、平成25年度実績が56.7%で平成29年度は、75%を目標にするところがあるが、目標に達しなかった場合の金額ベースでの差はどのくらいになるのか。もう一点、年報の129ページにある受益者負担金の収納状況についての表の見方を教えていただきたい。

**【事務局】**

使用料金の体系についてですが、前回は井水等による汚水の下水道使用料について値上げを行っており、段階的に値上げを行った経過があります。

**【委員】**

大口の見直しを行ったわけではないのですか。

**【事務局】**

井水等による汚水の下水道使用料の値上げを行いました。

**【委員】**

現在は、どのような状況か。

**【事務局】**

平成23年4月から井水等による汚水も、水道水による汚水の下水道使用料と同じ料金体系となっております。

**【委員】**

わかりました。

**【事務局】**

受益者負担金の収納状況ですが、この数値については、年度ごとの末日現在の数値を表記してあります。下水道の使用料と比べますと、収納率については、低い状況ですが、受益者負担金というものの事体が、下水道の整備に使う事業費の一部を下水道を使用する方に負担していただくもので、上下水道料金などのように使用した分を支払っていただくものではないため、なかなか理解が得られない部分もあり、収納率が下水道使用料と比べ低い状況です。

しかし未納者の方には、継続的に納入のお願いをしているところであり、例えば、平成20年度でご説明いたしますと、収納率が83.17%ですが、平成25年度末ですと97.18%まで収納率は上がっております。

**【委員】**

この収納率は、適正な数値なのでしょうか。また、平成20年度でいうと収納率が83.17%で平成25年度末には、97.18%になったと説明がありましたが、83.17%という数値は、どのような数値なのでしょうか。

**【事務局】**

83.17%は、賦課をした年度の末日の数値であり、平成25年度末には、97.18%の収納率となっているので、収納率は良いのではないかと考えています。

**【委員】**

分かりました。負担金については適正に徴収しているということですね。

**【事務局】**

はい。

**【事務局】**

有収率向上のための対策といたしまして、資料2の算定期間内の収支についての2ページをご覧ください。算定期間内の建設計画のなかで、浸入水防止対策ということで、平成27年度に1億2,000万、平成28年度に1億円、平成29年度に1億円の事業計画となっております。有収率との関係ですが、有収率は、有収水量を処理水量で割ったものになります。また、処理水量から有収水量を差し引いた水量が不明水となり、それは下水道管の地下の部分や、蓋穴などから雨水が浸入したり、家庭の雨どいが誤接続されて枡から浸入しているものとなります。このような、浸入水を防止し有収率を上げる計画となっております。

**【委員】**

平成27年度に1億2,000万円、平成29年度には1億円と事業費が減っているが、有収率は、平成29年度で75%と上がっている。この事業費で対応が出来るのかということと、不明水は、金額ベースでどのくらい損益に影響しているのか教えてもらいたい。

**【事務局】**

まず、平成27年度から平成29年度の計画の中で、予算が減っているというご指摘ですが、こちらについては、財政計画等を考慮しながら算定しておりますが、今後、事業の進捗状況をみながら検討していきたいと考えております。

次に、平成29年度の目標値ですが、75%という数値となっております。これは全国的平均を見ますと、甲府市と類似した都市では、75%から80%程の有収率となっておりますので、目標として75%を掲げております。また、有収率が低いことによってどれ位の費用が発生しているのかということですが、単純に有収率1%に対しまして、これに相当する水量に汚水の処理原価約147円を乗じた場合には約1億円となります。ただし、この汚水の処理原価の中には、水量に関係のない固定費と変動費が含まれています。この変動費を抜き計算してみますと、有収率1%に相当する費用としては、毎年約500万円となります。

**【委員】**

ということは、目標値との差が10%とすると、5,000万円になるということですか。

**【事務局】**

有収率を費用に換算する方法は、全国的にも計算方法はありません。あくまで、私どもの中で参考値として出した数値ですので他都市と比較することはできません。

**【委員】**

全国との比較を求めているのではなく、甲府市の上下水道として利益を上げるにはどうしたら良いかということで質問している。そのためにはパーセンテージではなく、具体的な金額をターゲットにしてそれを潰していく方法が良いのではないか。上水道で言えば8,800万円、下水道で言えば今言った金額を努力して減らしていけば値上げの時にかなり寄与してくると思う。具体的な改善目標として、パーセンテージではなく金額で表した方が分かりやすいと思う。

**【会長】**

色々な意見をいただきましたが、委員の意見に対して事務局で何かあります



か。

**【事務局】**

ご意見は、今後の事業運営の参考にさせていただきたいと思います。

**【会長】**

他に何かございますか。

**【委員】**

基本的な事で2点ほど、ご質問させていただきます。先程の後期経営計画の中で耐震化の説明があったのですが、上水道の耐震化の考え方と下水道の耐震化の考え方に違いはあるのか、耐震化の手法として違いがあるのかという点と。最近、全国的に資材や工事のコストが上がってきているという話があります。そういったものを計画の中に織り込み済みと言いますか、それに対してどういうふうに考えているのか、という2点であります。

**【事務局】**

上水道と下水道の施設の耐震化に対する考え方に違いはございません。また、上昇分に関しましては考慮しております。

**【委員】**

そうしますと、おおむねどのくらいの割合の上昇を見込んでおりますか。

**【事務局】**

おおむね3%程を見込んでおります。

**【会長】**

全国的に見ても見劣りするような数値ではありませんか。

**【事務局】**

インフレスライド等を考慮した上で算出しておりますので、おおむね適正な数値と考えております。

**【委員】**

わかりました。

**【会長】**

他に質問等ございますか。

**【委員】**

収入に関してですが、消費税について5%が8%になり、また10%になる可能性がある中で、その消費税分の収入については、どのように見込んでい

るのか。

**【事務局】**

消費税につきまして上下水道局は、納付団体となりますので、税抜きで算出しており、特に消費税の影響は受けないと考えております。

**【委員】**

わかりました。もう一点よろしいでしょうか。資料を見させていただいて経営分析を見ますと、その努力の成果が表れているのが良く分かり、その点は素晴らしいと思う。ただし、資料等について、例えば経営状況についてグラフ等を使用しているが、このグラフでは、キャッシュを表しているのか、制度会計による損益を表しているのか不明瞭である。キャッシュを表すならば、支出は△、収入は○で表すなど、もっと分かりやすい資料を作って頂きたいと思う。

**【会長】**

今の意見は、今後の検討課題ですね。それでは、他に意見等ないようですので、次に(3)適正な下水道使用料について事務局より説明をお願いします。

**【事務局】**

適正な下水道使用料について説明。

**【会長】**

適正な下水道使用料について現行の使用料で賄える、との事務局からの説明でしたが、何かご質疑、ご意見等は、ございませんか。

**【委員】**

今の説明からしますと、使用料の値上げはしないで出来るということによろしいのでしょうか。

**【事務局】**

そういう事になります。

**【委員】**

ありがとうございました。

**【会長】**

他に質問等ございますか。ないようなので、次に(4)の「これまでの審議内容の整理について」ですが、次回第6回の答申（案）の作成に向け、本日の審議も含めて、これまでの審議内容をまとめて整理したいと思います。

それでは、(4)これまでの審議内容の整理について事務局より、説明をお願いいたします。

**【事務局】**

これまでの審議内容の整理について説明。

**【会長】**

ただいま、事務局からこれまでの5回の審議会で決定したことや、意見を整理して、簡潔に的確にまとめていただきました。これ以外に追加要望等、何か、ご質疑、ご意見等は、ございませんか。

**【委員】**

これまでの審議内容から考えて、十分現状維持で対応できると思う。住民の皆さま方のことを考えると、今後消費税のアップも考えられるので、災害時のライフラインとしての水道及び下水道整備はシッカリしながら、水道・下水道ともに現状維持で値上げせずにごんばってもらいたい、と強くお願いしたい。

**【会長】**

委員からお褒めの言葉をいただきました。現状維持でがんばっていただきながら、震災対策は決して無駄のない様にやってもらいたいとのご指摘、ご意見をいただきました。他に質問等ございますか。

**【委員】**

危機管理対策をしていただくことは凄くありがたいことだと感じた。今回、非常に勉強になったのですが、甲府市の水道料金は、高い高いというイメージが初めはありましたが、高くはない、適正料金であるということ、水道事業の開始が他の事業体に比べ早かったことで、老朽化率も高いことなどの影響が反映され一時水道料金は高くなったという説明などを伺うと、なるほどと思う。安心・快適な生活環境の創造と掲げているが、創造も良いが、今の時点で甲府市の水道が頑張っていて良い水を提供している、下水道の普及率も95%近くある。ニュースなどを見ると人は悪い所は耳に入り易いので、普及率が良いなど、良い所のアピールを回覧板や広報でも使い、本当は水道料金が高くなく適正である、という事をアピールしていただきたいと思う。

**【会長】**

せっかく上下水道局が努力して、適正な水道料金で良質な水を提供している、

下水道も処理している。すばらしい仕事をしている割には、市民の認識、評価が足りない、乖離が大きい。頑張っているという自画自賛は難しいとは思いますが、何らかの形でもっとPRして市民が納得して、この料金でこれだけの安心な水を届けて頂いている事に感謝しなくては、と思うように事務局を中心として様々な手段でPRしていただきたい。

【会長】

他に質問等ございますか。ないようですので、これまでの審議内容の整理についてと、本日、皆様から出された意見をもとに、「答申（案）」を私と事務局とで、練らせていただきたいと考えますが、一任いただいてもよろしいでしょうか。

【委員】

異議なし。

【会長】

ありがとうございます。次回の審議会にまでに、答申（案）を作成させていただきます。

【会長】

それでは、(4)その他に移らせていただきます。

皆さまの中で、本日、何か審議のご提案、質問等ございましたら、お願いいたします。

【会長】

ないようですので、これで議事は、終了とさせていただきます。

続きまして、「事務連絡」に移ります。事務局よりお願いします。

【事務局】

（次回審議会日程等の説明）

【会長】

次の第6回審議会の説明がありましたが、何か、ご質問等ございませんか。

【会長】

次回第6回が皆様方との最後の審議となりますので、よろしく申し上げます。それでは、これで「第5回甲府市水道料金等審議会」を閉会とさせていただきます。本日は、大変お疲れ様でした。

以上